

徳川家康公が、長い戦国時代を平定し、江戸に幕府を開かれた時、当時の世相を憂い、民政の安定と庶民救済の守り神として、国神を始め、印度、支那の名のある諸神をあつめ、人々に七難即滅・七福招来を与え、天下泰平をねがう庶民信仰として広めたのが、七福神のはじまりと伝えられています。

東海七福神は、昭和33年に開眼し、三河湾国定公園に指定されている渥美半島にあって、名刹七ヶ寺に七福神を祀り、信仰と観光を兼ねて巡拝していただいています。七福神巡拝によって、皆様方の生活の中から不安と不幸を除き、安心と幸福が授かれれば、幸いと存じます。



渥美半島周遊 東海七福神めぐり

弁財尊天 城宝寺	田原市田原町稗田50	TEL0531-22-0076
恵比寿尊天 成道寺	田原市江比間町郷中10	TEL0531-37-0553
大黒尊天 泉福寺	田原市山田町谷太郎69	TEL0531-32-0785
毘沙門尊天 潮音寺	田原市福江町原ノ島37	TEL0531-32-0460
布袋尊天 常光寺	田原市堀切町除地74	TEL0531-35-6902
寿老尊天 法林寺	田原市越戸町大山1024	TEL0531-45-2428
福祿寿尊天 瑪瑙寺	田原市高松町一色53	TEL0531-45-2202 (法蔵寺内)

大祭

春 3月10日
秋 11月10日

(ただし、日曜日の場合は、翌日)

東海七福神奉賛会 豊橋市駅前大通1-46-1 豊数ターミナルビル5F
☎0532-53-2131
東海七福神霊場会 田原市福江町原ノ島37 (潮音寺内)
☎0531-32-0460

お問合せ



田原市博物館 ⑩

田原城二ノ丸跡に建てられた“田原市博物館”。渡辺華山や田原藩に関する作品・資料が多数展示され、田原の歴史を紹介するシンボルとなっています。

TEL.0531-22-1720
◆開館時間/午前9時～午後5時(日・曜定休)



シエリスよしで ⑨ (吉胡良塚史跡公園)

国指定史跡の縄文時代の貝塚で、広い公園と貝塚や、縄文人の暮らしがわかる資料館があります。



片浜十三里 ⑦
日出の石門から浜名湖まで約70km、雄大な直線の白い砂浜が続いています。どこまでも続く海岸線は美しく、眺めるポイントは日出の石門あたりがベストです。また、サウインド世界大会が行われる太平洋ロンパビーチも見どころです。

恋人の聖地 ⑧
恋路ヶ浜と伊良湖岬灯台は、その美しさから恋人たちのプロポーズが似合うスポットとして、「恋人の聖地」に選ばれました。また、恋人たちの願いが叶うといわれている「願いのかなう鍵」には、二人の願いを叶えようと多くの恋人たちが訪れ、砂浜に華を添えます。



蔵王山 ④
山頂にある展望台からは360°の大パノラマが広がります。穏やかな三河湾や波高い太平洋が一望できます。また、山頂の風力発電施設(風車)は、「地球環境を活かした環境負担の少ないまちづくり」のシンボルにもなっています。

◆展望室営業時間/午前9時～午後10時(年中無休・入場無料)

渥美半島の菜の花 ③

早春の渥美半島では随所に菜の花が咲き誇り、春の訪れが実感できます。菜の花狩りやライオンツツナなどのイベントが人気です。

- 菜の花スポット(見頃 1月上旬～3月中旬)
 - ・田原市(吉胡、加治、馬車)
 - ・渥美半島(R259線沿)伊良湖地区一帯および伊良湖菜の花ガーデン
 - ・国道42号線和田小学校周辺



伊良湖岬恋路ヶ浜 ①

伊良湖岬の最先端には昭和4年に建てられた白亜の灯台があり、行き交う船の安全を見守るとともに、渥美半島のシンボリック存在となっています。また周辺には散策コースが整備され、先端部からは三島由紀夫作「潮騒」の舞台となった神島を見渡すこともできます。



日出の石門 ②

太平洋の荒波の浸食によって真ん中が空洞となった日出の石門は、沖の石門と岸の石門の2つがあり、その名の通り日の出の時には美しいシルエットを見せてくれます。西に神島を登り志摩半島を望み、東には延々と続く片浜13里を眺める雄大な風景が満喫できます。



サンパルクたはら ⑥

日本有数の農業産地である渥美半島の拠点サンパルクたはらは、昔々地のほとりにおいて、花いっぱい溢れる農業体験型の公園です。農林漁業体験実習館をはじめ、新鮮な農産物の直売所、野菜の遊園地、小動物園などがあり、時々のつたの忘れぬ思い出を作ることができます。



「椰子の実」の記念碑 ⑤

明治31年夏、民俗学者の柳田国男が伊良湖に滞在した時に拾った椰子の実の話を親友の島崎藤村に語ったところ、それが素材となって椰子の実の叙情詩「名も知らぬ遠き島より赤れるやしの実ひとつ…」が生まれました。昭和11年に大中原二によって作曲され、現在も国民歌謡として親しまれています。



観光スポット